

NPO 法人近畿水の塾

# 平成16 年度事業報告書

平成17 年 5 月

## 継続的な公開研究会『澤井河川塾』の実施

### 1. はじめに

2000年(平成12年)9月に八幡市で開催した「川に学ぶシンポジウム in 近畿」の終了後、実行委員が川に関する人のネットワークの継続や知識の習得を兼ねて、摂南大学澤井教授を中心にスタートし、2002年(平成14年)年8月よりNPO法人近畿水の塾の事業の一つとして継続している。

### 2. 実施内容

河川工学を楽しく、幅広く、実験・具体例(フィールドとしてピオトープづくりや河川蛇行実験など)を併せてわかりやすく学ぶこと、様々なセクターからの受講生が時の話題・情報を提供する。

第1回は2000年11月に始まり、2005年3月の定例会で50回を迎えた。受講生は、学生・行政担当者・コンサルタント・市民など会員及びその紹介を受けたもので、2000、2001年は河川の基礎工学シリーズ、特別フィールドシリーズ(ワーキング)、2002年はマイリバーシリーズ、2003年は河川関連法(自然再生から淀川を例とした河川整備計画)、2004年は淀川の整備計画と水資源、付替え300年を経た大和川などを中心に展開した。



写真：2004.11.17 澤井河川塾(荻野教授)

	45	9/15	歴史と文化の中の川づくりを考える ～近畿水の塾への期待、役割～
	46	11/17	水資源と環境～淀川水系の水資源の量と質～ 10/20の河川塾は台風23号の接近で中止になりました。
	47	12/15	シリーズ NPO活動と市民協働の実態 ～三島グランドワークにおける政策自主研究報告～
	48	2005 1/19	シリーズ NPO活動と市民協働の実態 ～NPO法人里山倶楽部の紹介～
	49	2/17	シリーズ 堺7-3区共生の森の活動紹介
	50	3/16	シリーズ 浜寺水路でのコンブ育成実験
拡大編		4/24	自然再生連続シンポジウム 第3回 ～自然再生推進法をどう使おう?～ 参加者全員によるディスカッション
		10/30	「旭川源流の碑」の活動紹介 (旭川流域ネットワーク)
		2/26	ワークショップ ～近畿水の塾振り返り～ 話題提供(まちづくり委員会、指定管理者制度)

### 3. 成果

近畿圏での川や水辺に関する知識を得、時の情報を共有でき、また各地での活動を知り、様々な団体との交流が図れた。

### 4. 今後の課題

- ・事前に講座・フィールドの希望内容を会員より収集
  - ・会員・受講生より得た情報などから、不定期に新たな知見を得られるシリーズ(フィールド・講座)の設置
  - ・会員・他のグループよりのプレゼンテーション
  - ・二級河川の流域連携、
- など、新年度に向けた内容等を検討する必要がある。

### 5. その他

今後の具体の予定として、

- ・マイリバーを継続して、情報を蓄積し交流をはかり、またこれらを紹介しながら川の評価基準により表彰する
  - ・河川踏査、写真・資料収集等
  - ・干潟事例報告、提案
  - ・環境学習の検討報告
  - ・河川で合宿 フィールドワーク
  - ・古老の記憶を未来へ
- などを検討中である。

(報告者：西河 嗣郎)

回	月/日	内 容
40	2004 4/21	シリーズ 淀川水系河川整備計画について ～流域委員会の活動から(1)～
41	5/19	マイリバー 寝屋川再生ワークショップからの報告
42	6/16	シリーズ 淀川水系河川整備計画について ～流域委員会の活動から(2)～
43	7/21	大和川を語る ～都市河川としての大和川の過去・現在・未来～
44	8/18	レポート 大和川・淀川流域連携水環境交流会2004 新潟・福井水害

## 各種イベントや出前講座の開催

< 大和川・淀川流域水環境交流会 2004 の開催 >

### 1. はじめに

「活かそう水辺、つなごう流れ」をキャッチフレーズとして、淀川流域と大和川流域の水環境に関心とかかわりを持つ人が、幅広い交流と連携を図ることを企画して行うものであり、水辺の自然や生きものに目を向け、その命を生きし続けるとともに、流域間の連携はもちろん、世代間の連携、立場の異なる人々の連携、時代を超えた歴史・文化の継承を図ることを目的としている。

### 2. 実施内容

実施年月日：平成 16 年 7 月 31 日（土）  
8 月 1 日（日）

参加人数：160 人

実施場所：第 1 日目 リビエールホール  
（柏原市民文化会館）

第 2 日目 柏原市役所前大和川河川敷

内容

#### 第 1 日目

##### ・ 基調講演

「古代政権と大和川・淀川」

講師：松浦 茂樹（東洋大学教授）

##### ・ ワークショップ

「よりよい流域連携のあり方について」

話題提供：中島 裕子

（奈良県地域婦人団体連絡協議会）

美濃原 弥恵（アクアフレンズ）

寺川 裕子（石川自然クラブ）

仲谷 正幸（築留土地改良区）

角野 昇八（大阪市立大学）

コーディネーター：

久保田 洋一（近畿水の塾）

##### ・ 交流懇親会

#### 第 2 日目

##### ・ 河川清掃

##### ・ 水面利用実践

（水深測定、距離測定、写真撮影、クイズ）

##### ・ 目指せ柏原

（カヌー隊、サイクル隊、ウォーキング隊）

##### ・ E ボートレース

##### ・ 施設・史跡見学

（大和川付替え記念碑、築留樋門、柏原堰堤、瀬と淵浄化施設）



### 3. 成果

本交流会を通じて、参加者の水環境への意識がますます高まるとともに、その成果を持ち帰り、それぞれ身近の場でその普及に役立てる事によって、よりよい水環境を保全、さらには創造していくきっかけになることが期待される。

### 4. 今後

平成 17 年 8 月 6 日（土）、7 日（日）に近畿流域連携水環境交流会 2005 in 紀ノ川と名前を変えて行う予定となっています。皆さんの参加をお待ちしています。

<『大和川・淀川流域連携水環境交流会 2004』大和川付替え 300 周年記念イベント「大和川ハイキング」～大和川の流れて沿って柏原合流点に集まろう！～>

### 1. はじめに

付替え 300 周年を迎える大和川流域から、『大和川・淀川流域連携水環境交流会 2004』の会場である柏原合流点を目指し、徒歩や自転車、カヌーなどで大和川(新川・旧川)の流れに沿って下流から上流へと“遡りハイキング”、または上流から下流への“流域下りハイキング”などと呼びかけました。

“ハイキング”途中で、川の『景観』と『水質』をテーマに川の景観写真や自然物、スタート地点と中間点の“川の水”を採水したものを持ち寄り、簡易水質試験の結果や写真を使って『大和川流域マップ』を制作し、発表しました。

これらの体験を通じて、“大和川の水の流れ”と流域を体感し、身近な水辺である大和川・淀川への理解を深め、また流域水関係団体との連携・交流を図ることを目的としています。

### 2. 実施内容

#### 「大和川ハイキング」 柏原に集まろう！

- (1) 堺 - 柏原サイクリング(サイクル隊・カヌー)
- (2) 富田林 - 柏原「石川くだり」(カヌー隊)
- (3) 流域団体集合(長瀬川/アクアフレンズ等)
- (4) マップ制作、流域からの報告

### 3. 成果

「石川くだり」(カヌー&サイクリング)	
参加	勝山( )・寺川・速水・長井・黒川・広瀬  (リーダー)
08/01	「石川を下る ～往時の水運を偲んで～」
08:30	<b>近鉄長野線「富田林駅集合」</b> ・ 金剛大橋上流左岸 「昔は、ここが寺内町の船着場であったそう」
09:00	・ 河南橋上流左岸 常夜灯見学 ・ 「当時は、この常夜灯が川をいく船に船着場が近いことを知らせていたそう」 古地図をたよりに、河南橋周辺の船だまり跡付近を見学
09:30	・ 河南橋下流右岸 ・ 河南橋よりカヌー出発 あすか花回廊を目指す(約3キロ) 落差工 2 箇所(梅川合流手前、新大黒橋上流) 堰 1 箇所(はりま井堰)  ・ あすか花回廊でカヌーを積み、道明

10:30	寺駅前、玉手橋上流左岸、石川河川公園「星の広場」に向け出発 旧大黒橋(竹之内街道)たもとにあった船着場跡を見学 ・ 着後、再びカヌーを下ろし、「星の広場」を出発 カヌーにてゴールまで約2キロ堰等なし
10:45	ゴール地点の柏原市リビエラホール前へカヌーで Go!! ・ 大和川合流地点下流 リビエラホール到着
11:00	・ ポイント ・ 水運の名残の史跡はチェック ・ フィールドの自然ゾーンで、とにかくカヌー。 ・ 石川を象徴する井堰の一つは越える(かつぐ)  ・ 感想 ・ カヌーの上からみる石川。なかなか捨てたものじゃない。 ・ ただし、水質からして、沈(ちん：カヌー用語で転覆すること。)は避けたい。 ・ 清流であった往時が偲ばれる。

「大和川さかのぼり」(サイクリング&カヌー)	
参加	塚田( )・岸本・滝沢・長浜・速水・左近  (リーダー)
08/01	「大和川を溯る - 川の利用と流域の土地利用」
08:30	<b>南海本線「堺駅集合」</b>
09:00	・ 大和川大橋上流右岸 カヌー出艇 漣筋にて採水(下流) 「十三間川樋門記念碑」 ・ サイクリング隊は高水敷を走行 遠里小野橋～西除川合流左岸
09:30	・ 安彦大橋～下高野橋右岸 ・ 下高野橋左岸下流階段護岸 カヌー出艇 漣筋にて採水(中流) ・ 右岸に戻り、下高野橋へ高水敷を走行
10:00	・ 高野大橋～明治橋右岸 東除川合流地点(左岸) 捨石護岸(カワウ多し 魚多い?) ・ 大正橋下流右岸河川敷公園 (八尾市)
10:30	

	高水敷内駐車場にて小休止 ・ 大正橋～新大井橋 ・ サイクリング隊は右岸高水敷走行 ・ 河内橋～近鉄鉄橋上流歩道橋右岸 「築留第2樋門」(登録有形文化財) 11:00 ・ 近鉄鉄橋上流歩行者橋右岸へ戻り、 カヌー出艇 サイクリング隊と並走しつつ 11:30 ゴールイン！
・ポイント	・ 大和川が付替えられた後も、大和川 の水は大阪平野に導水され続けた証 拠の樋門をチェック ・ サイクリング隊はひたすら右岸高水敷 を走行 カヌーを出しやすいポイントで採水 ・ 大和川がどのようにして人々に親しま れているか？ 大和川は利用されているのか？
・感想	・ 大和川カヌー、不快になるほどの水 質ではなく、それなりに楽しめた。 ・ 河道内、高水敷内ともに利用してい る人は少なかった。 ・ 右岸には歴史的遺構が多い。 ・ 途中で出会った『流域の古老』に聞 いた話が面白かった。



#### 4. 今後の課題

- ・ 水環境交流会会場とサイクル隊・カヌー隊等、別途  
 行動部隊との体験の共有
- ・ 水質・景観・利用面の継続的な定点観測
- ・ 古老への聞き込みや、流域の歴史・文化遺産の記録  
 と継承

など、今後の実施内容等で検討する必要がある。

#### 5. その他

今後の具体の予定として、

- ・ 平成17年度「流域連携水環境交流会」が、紀ノ川を  
 会場に開催されることとなっている。
- ・ 平成17年度の実施体制として、実行委員会が計画さ

れており、実行委員会の中心的役割を近畿水の塾が果  
 たすこととなっている。

- ・ 今年度水環境交流会の実施メニューについては、現在  
 検討中である。

(報告者: 佐藤 拓二)

<「水の使い方を考えるシンポジウム」へ講師派遣>

日時：平成16年8月29日

主催：国土交通省近畿地方整備局  
 淀川水系総合調査事務所

目的：琵琶湖の水位低下を抑制するための1つとして、  
 水位低下の原因である水需要をどのように抑制  
 していくかを考える場として開催された。

内容： 基調講演

「水とともに暮らす作法」

京都 貴船神社宮司 高井和大

パネルディスカッション

「人間のためだけの水ですか？～暮らしの中の  
 水の使い方を考えてみませんか～」

コーディネーター 弘本由香里

パネラー 京都・雨水利用を進める会 上田氏

京都市上下水道局 富森氏

同志社大学 新川氏

NPO 法人近畿水の塾 福廣氏

NPO 法人近畿水の塾から福廣理事長がパネラーとし  
 て参加。水の使い方だけでなく、水の授かり方につい  
 て、流域の水のあり方について語った。

<猪名川・藻川の清流復元 水辺フォーラム&水辺まつりにおけるEポート体験の実施>

## 1. はじめに

水辺フォーラム&水辺まつりは、自然と文化の森協会(尼崎市)が中心に構成する実行委員会により実施された。その中の一つのイベントとして、近畿水の塾・摂南大学がEポート体験を企画・実施した。日常生活の中において水辺に親しむ機会が少なくなった大人や子供たちに少しでも水辺に親しんでもらい、水辺の生物や水辺から見た街の風景など新たな発見を体験してもらうために企画した。なお、水辺フォーラムには、実践活動報告及びリレートークに当会の澤井健二氏が報告者として参加した。

## 2. 実施内容と結果

(1) 日時 平成 16 年 10 月 3 日(日) 13:30 ~ 15:00

(2) 場所 藻川右岸河川敷(尼崎市食満/市立尼崎東高校東側河川敷)

(3) Eポートの数 2艘(摂南大学)

(4) コース

会場付近から乗船し約300m下流の宮園橋で折り返し帰る。1艘につき船首と船尾にスタッフを1名づつ配置し、参加者は8名乗船。所要時間は30分程度。途中、浅瀬があり流速が早く、しかも強い逆風で、行きはよいよい帰りは大変だった。

(5) 気づきボード

気づきボード(高さ1.8m×幅0.9m)を受付に設置し、体験後の参加者にポストイットを渡し感想を自由に書いてもらい、ボードに貼った。

(6) CODバックテスト

会場付近及び宮園橋付近でバックテストによる水質検査を行った。結果はいずれも5mg/Lであった。

## 3. スタッフ

- ・近畿水の塾 安田、白樫、疋島
- ・摂南大学澤井ゼミ 出原、濱、福田、秋田、戸川
- ・自然と文化の森協会 西村

4. 参加者 乗船体験者数 約60人

## 5. スタッフの感想

部分的に川の水深が浅く浅瀬があり、漕ぐのが大変だったようです。特に帰りは、流れがあり、しかも逆風でなかなかすすまず、みんな必死で声をかけながらオールを漕いでいました。

陸に上がってからは、しんどかったという声も聞こえましたが、ほとんどの方が、笑顔で帰られました。

ずっと船に乗っていたスタッフの大学生が一番大変でした。

## 6. 気づきボードの意見(抜粋) できるだけ原文

- ・ごみがいっぱいなのは、おどろき。しんどかったけど、楽しかった。
- ・子供と自然にふれあって楽しかったです。また、企画してください。

- ・今日、Eポートで、藻川をこぎました。カメみたいなものもありました。行きは少ししんどかったけど、かえりはちょっとやりやすくなりました。
- ・たのしかった。ねこじゃらしみたいな草があったよ。大きな橋と電車がかった。わにがいた。
- ・はじめてふねにのったので、すごく楽しかったです。
- ・いつも見ている川がこんなに浅いのでおどろきました。水質ももつときたないと思っていましたが、きれいでした。
- ・思ったより水がきれいです。魚(何かわかりませんが)がとび上がり、川幅が広く感じました。楽しかったです。
- ・川底が見え、石も美しく時折左右に魚が飛び上がり、秋を一杯楽しませて頂きました。ありがとうございました。
- ・水はきれいと思いますが、ゴミをみんなでなんとかしなければと思いました。
- ・ぜんぜん進めなくてみんなで協力したから楽しかった。
- ・途中ですごくたいへんになっちゃったけど、すごくおもしろかった。
- ・川面から見る景観もまたかわったもので、おもしろいものでした。
- ・最後まで帰ってくるのができませんでしたが、貴重な体験でした。また乗りたいと思います。



乗り込んで、さあ出発!(尼崎市長・右奥も乗船)



スタッフです

(報告者: 安田)

<内川・土居川まつり>

### 1. はじめに

内川・土居川は堺市中心部に位置し、中世自由都市”堺”の環濠の面影を残す川で、「内川・土居川まつり」は、川を愛する心を喚起するとともに、市民の交流と地域コミュニティの輪を広げ、内川・土居川と共生する魅力ある堺のまちづくりを進めることを目的とし、今年の開催で第6回を数えます。

NPO 法人近畿水の塾は「人と水とのあるべき関係について考え」、「流域内・流域間の人と人の幅広い交流のために」、「具体的な活動を市民的な視点で実施する」団体であり、まつりの趣旨にも賛同できることから、昨年の経験と実績を踏まえて、今年も「第6回内川・土居川まつり」の『手づくりボートレース』及び『模擬店出店』に応募するとともに、摂南大学の全面協力のもと『E-ボートデモンストレーション』を実施し、近畿水の塾の活動PRと会員内外の交流を図りました。

### 2. 実施内容

<p><b>手づくりボートレース</b> (参加：二艇)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「水の塾号」 2Lペットボトルと衣装ケースを組み合わせた手づくりボート(足立さん作)・・・昨年ユーモア賞</li> <li>・「水の塾2号」(新) D-ボート(?) - 再利用ダンボールの舟 (五ヶ瀬川流域ネットワーク土井裕子さん伝授) ・・・ユーモア賞狙い</li> </ul>
<p><b>E ボート デモンストレーション</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「摂大艇」E ボート試乗会</li> </ul>
<p><b>模擬店「みんなの焼きそば屋さん！」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近畿水の塾活動紹介 (パネル展示など)</li> <li>・ 環境学習プログラムデモンストレーション (土居川クイズ)</li> <li>・ 「美味しい! 焼きそば」隊</li> <li>・ 「みんなのフリーマーケット!!」</li> </ul>

### 3. 成果

#### ボートレース予選

今回は「近畿水の塾」1・2号と2艇参加しました。1号は昨年の2Lペットボトルと衣装ケースを組み合わせた舟、新2号はダンボールと2Lペットボトルを組み合わせた舟で二人乗りです。2号はギリギリまで作製に手間取り、進水式もしないままで、スタート前にバランス悪く転覆するのではと心配されましたが、ちょっと沈みながらもなんとかスタート地点に並びました。



タイムを競う予選でしたが、二人乗りとはいえないなかなか前に進まず悪戦苦闘。沈没しそう

でないこの2号に姿に河川敷の観客から「がんばれー」の声、声。そんな声援の中、2号は4分を超えてようやくゴール。

このあと、足立さんは午後からの敗者復活戦にも出場し、1号・2号の予選と合わせて、計3回オールを漕ぐことになりました。(残念ながら敗者復活戦も敗北) 来年こそとうご期待!



#### E ボート デモンストレーション

この日、摂南大学の富田さんはじめ5人の学生スタッフによるE ボート試乗会もありました。

葦で作られた手づくりボートやE ボートに乗り込み、初めて着用するライフジャケットやオールの感触に参加者も緊張。



しかし、慣れないオールの扱いも、全員での掛け声と共に、スムーズにボートが動き出しました。おっかなびっくりだった子ども達も一人の漕ぎ手として一生懸命オールを漕いで土居川でのクルージングを楽しんでいました。

下船する頃には「まだ乗っていたいー」との可愛い声も。

これでまた川に近づいた人が増えたのではないのでしょうか。

摂南大学の皆さん、お疲れ様でした!



#### 模擬店「みんなの焼きそば屋さん！」

前日までの雨で、空模様を気にしながらの焼きそば屋さんでしたが、今回約230食完売! 売切れ御免という大盛況ぶりでした。昨年は全くの素人屋台でしたが2回目となるとスタッフの動きもスムーズでなんとかさまになっていったような。



嬉しいことにずっとお客さんが絶えず並んでいて、用意した食材が足りず一時販売中止し、急遽買い足しに走る羽

目にもなりました。

その反面、スタッフは飲み放題・食べ放題と言って集めた人材だったはずなのに、実際には飲まず食わずでの大忙しでした。

昨年同様、屋台の一角でマテバシイを炒ったものをサービスで試食してもうコーナーも設けました。大人の中には「ああ、シイね。昔食べてたわ」と口にする方や、初めて口にするシイにチビチビと前歯で噛んで味を確かめる子ども達など反応色々で面白いコーナーでした。



このシイがよっぽど美味しいようです。

再度マテバシイコーナーに来る姉弟。

手と口の中にシイが沢山入っています。

その姿はまるでリスのようでとても可愛かったです。

今年は当日の天気と、スタッフ不足で人材募集に頭を悩ませましたが、なんとか曇り空で持ちこたえ、スタッフも総勢13名が揃い、昨年同様「みんなの焼きそば屋さん」その名の通りでした。近畿水の塾の名前を、パネルコーナーやポर्टレース、屋台とあちこちで来場者の方に目にしてもらったのではと思います。会員では上岡さんが顔を出してくれ「美味しい」と言って焼きそばを食べてくれました。

こういう会員内外交流の場があるのはやはり楽しいものだと昨年よりちょっと余裕のある今年はそう感じました。

今回のおまつりスタッフメンバーは（敬称略・順不同）小山・植田・野田・森田・富田・有本・山脇・豊田・古川・笹原・岡田・菅・南・前田・足立・塚田・佐藤拓・佐藤侑の18名でした。どうもお疲れ様でした！！

#### 4. 今後の課題

- ・近畿水の塾の活動としての位置づけ
  - ・会員・会員外の参加者への声かけと動機付け
  - ・一般の方々への近畿水の塾活動のアピール
- など、継続参加に向けた内容等を検討する必要がある。

#### 5. その他

今後の具体の予定として、

- ・望ましい水面利用のあり方の一つとして、「内川・土居川まつり」で作製した『手づくりレポート』を近畿水の塾フィールドワークに活用
- ・E-ポर्टレース・モストレーションの恒例化
- ・近畿水の塾活動紹介アイテムの充実
- ・環境学習プログラムの検討報告
- ・会員レクリエーションの場での『お楽しみメニュー』などを検討中である。

（報告者：佐藤 侑美）

## 行政関連イベント及び市民団体ネットワークへの参画

< 第3回「私の水辺」大発表会の実行委員会への参画 >

### 1. はじめに

「私の水辺」大発表会は、河川、ため池、水路、学校ピオトープなど、身近な水辺での様々な活動の発表を通じて、地域間の連携や交流を深めていくことを目的に、平成14年度から開催されています。

平成16年度は府内の小学校など計30団体が地域別発表会(5地域)にて、自分たちの水辺での発見・活動を寸劇や映像を織り交ぜ、発表(展示とプレゼンテーション)されました。

本年度の「私の水辺」大発表会は、趣旨に賛同した教育関係者やNPO団体も参画した実行委員会形式で運営され、近畿水の塾も実行委員として参加し、「私の水辺」大発表会の運営に協力しました。

### 2. 実施内容

各地域別発表会は以下のとおり

- (1) 北部地域大発表会
  - ・ 茨木市立清溪小学校5, 6年生(佐保川)
  - ・ 高槻市立北清水小学校(学校プール)
  - ・ 高槻市立三箇牧小学校(淀川)
  - ・ 高槻市立津之江小学校4年生(芥川)
  - ・ 西淀自然文化協会(矢倉干潟-神崎川河口)
  - ・ 箕面第五中学校(千里川) \*展示会のみ
- (2) 北河内地域大発表会
  - ・ 交野市立岩船小学校(天野川)
  - ・ 四條畷市立田原小学校・比・ト・ブ・田原里山の会(天の川、堂尾池比・ト・ブ) \*展示会のみ
  - ・ 大東市寺川子ども会エコクラブ(廿田川 ホタル池) \*展示会のみ
  - ・ 寝屋川市立池田小学校理科委員会(学校比・ト・ブ - 淀川水系池小"わんど")
  - ・ 寝屋川市立点野小学校比・ト・ブ委員会(点野小学校比・ト・ブ) \*展示会のみ
  - ・ 枚方市立菅原小学校5年エコクラブ(ブ・比・ト・ブ)
- (3) 中河内地域大発表会
  - ・ 大畑山比・ト・ブづくり \*展示会のみ
  - ・ 東大阪市立菱屋西小学校(長瀬川)
  - ・ 八尾市立高美南小学校(長瀬川)
  - ・ 八尾市立八尾小学校(長瀬川) \*展示会のみ
  - ・ 八尾市立安中小学校(長瀬川)
- (4) 泉北南河内地域大発表会
  - ・ 和泉市立芦部小学校(槇尾川)
  - ・ 和泉市立和気小学校4年1組(槇尾川)
  - ・ 和泉市立和気小学校4年3組(槇尾川)
  - ・ 堺市立金岡小学校(学校比・ト・ブ「のほほん池」)
  - ・ 堺市立神石小学校(石津川)

- ・ 堺市立浜寺小学校4年生(三光川、浜寺水路)
  - ・ 堺市立八下西小学校4年生(菅池)
  - ・ 狭山副池自然づくりの会 \*展示会のみ
- (5) 泉南地域大発表会
- ・ 貝塚市立南小学校河童(カワッパ)クラブ(近木川)
  - ・ 近木っ子探検隊こどもエコクラブ(貝塚市内の水辺)
  - ・ 自然遊学館わくわくクラブ(市民の森自然生態園トロボの池)
  - ・ 阪南市立箱作小学校(せんなん里海公園)
  - ・ 岬町立淡輪小学校4年生(せんなん里海公園) \*展示会のみ

### 3. 結果

平成17年2月13日、ドーンセンターにて、各地域別発表会の推薦校による「府域合同大発表会」が開催されました。



「みんなですすめる近木川遊縁地計画」

「私の水辺」大賞 -  
貝塚市立南小学校河童(カワッパ)クラブ

府域合同大発表会【各賞受賞結果】

- ・ 「地域につながったで賞」  
高槻市立津之江小学校4年生
- ・ 「川から海へのつながりがよくわかったで賞」和泉市立和気小学校 4年3組
- ・ 「めぐる水を楽しみま賞」  
茨木市立清溪小学校5, 6年生
- ・ 「演技の力見事で賞」  
堺市立浜寺小学校4年生
- ・ 「ていねいに調べたで賞」  
寝屋川市立池田小学校理科委員会
- ・ 「えにして遊び広げま賞」  
貝塚市立南小学校河童(カワッパ)クラブ

#### 4. 今後の課題

- ・実行委員会への近畿水の塾の参画の位置づけ
- ・実行委員会運営への関わり方
- ・近畿水の塾の考える「望ましい水辺と水辺活動のあり方」との整合

など、継続参加に向けて、方針・内容等を精査する必要がある。

#### 5. その他

今後の具体の予定として、

- ・平成 17 年度「私の水辺大発表会」が、昨年度と同じ趣旨・手法で開催されることとなっている。
- ・平成 17 年度「私の水辺大発表会」の実施体制として、実行委員会が計画されており、実行委員の公募が始まっている。
- ・近畿水の塾として今年度実行委員会へ参画するか、現在検討中である。

写真は大阪府河川室 HP より転載させていただきました。

( <http://www.pref.osaka.jp/osaka-pref/kasen/> )

( 報告者：佐藤 拓二 )

## <大阪子どもの水辺ネットワークへの参画>

### 1. はじめに

大阪子どもの水辺ネットワークは、地域の自然や環境、歴史や文化などの暮らしの中の身近なところから「子どもの水辺活動」考え、情報や経験の共有をはかり、「総合的な学習の時間」を支援することを目的に、行政、教育、地域住民、学識者、企業が協力して組織している、ネットワーク組織です。近畿水の塾では、大阪子どもの水辺ネットワークに参画し、平成16年度事業にも積極的な参加を行ってきました。

### 2. 実施内容

#### ○水辺体験教室

水辺での体験活動の実践と指導者養成のため、平成16年3月28日に淀川左岸幹線水路（寝屋川市）および、大阪府水生生物センターにおいて、水辺体験教室がおこなわれました。水路での生き物観察会や、水生生物センター内のプールでの魚釣り体験、Eボートを使った安全講習などが行われ、参加していた子どもたちはもちろん、大人の方にも充実した1日となりました。当会からも数名が参加し、スタッフとして活躍しました。（参加者数103名）

#### ○交流会

平成16年6月5日（日）摂南大学において、大阪子どもの水辺ネットワーク交流会が行われました。交流会では、澤井先生による「大阪子どもの水辺ネットワークに期待するもの」と題した基調講演の後、今後の方針について意見交換するためにワークショップが行われました。近畿水の塾からの参加もあり、活発な意見交流を行いました。また、ワークショップ終了後には懇親会が開かれました。

（参加者数45名）



澤井先生による基調講演



ワークショップのようす

#### ○川の初級指導者養成講習会

川の体験活動の指導者としての人材を育成する目的で「川の初級指導者講習会」が、平成16年2月26日、7月3日、4日の計3日間行われました。これは「川に学ぶ体験活動協議会」のカリキュラムに則ったもので、受講終了時には初級指導者資格（RACサブリーダー）がもらえるものです。

#### ○矢倉海岸生き物調べ・淀川自然教室

9月25日（土）に、神崎川河口部に位置する矢倉公園緑地の干潟において、淀川河口の生き物観察と観察会の実施方法などを学ぶイベントがおこなわれ、近畿水の塾も参加しました。

### 3. 成果

これらのイベントに参画し、水辺の楽しさを実感できたこと、今後の大阪子どもの水辺ネットワークの活動について提案ができた、などが成果として挙げられます。

### 4. 今後の課題

子どもの水辺ネットワークは、設立して間もないですが、子どもをいかにして水辺に近づけるようにするか、また水辺の楽しさをどのようにしたら伝えることができるのか、そのためにはどのようにしたらよいかなどを、今後も提案していき、実際に行動に移すときに、積極的に参画することが求められています。

## 情報の発信と交流の場の創出

< ホームページの作成・更新等についての事業報告 >

### 1. はじめに

当会では平成 14 年 9 月 15 日にホームページを立ち上げ、会の概要、入会方法、事業内容、活動報告などを公開している。

また、会員はメーリングリストに登録し、会員間の情報交換を常に行っている。

### 2. 実施内容

ホームページの内容は以下のとおり

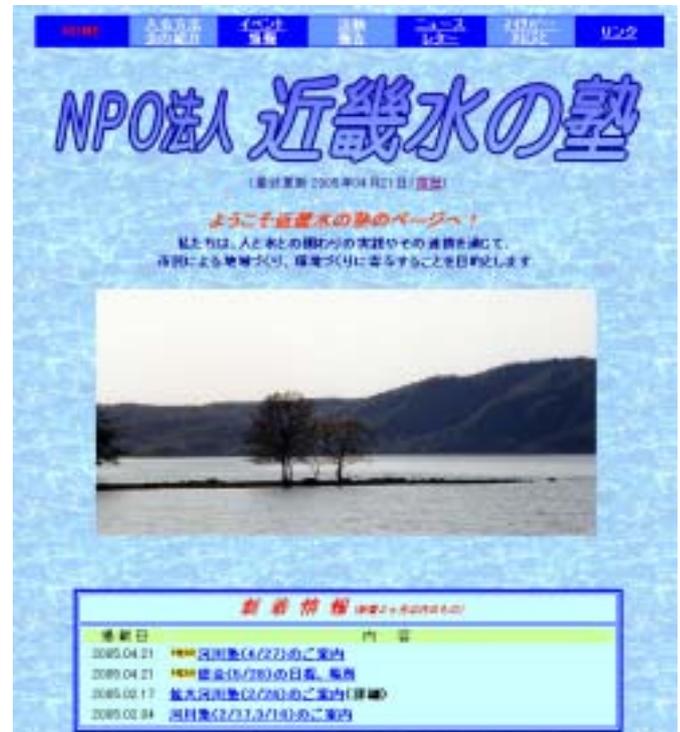
- (1) 当会の概要等
  - ・ 入会方法
  - ・ 設立の経緯
  - ・ 会員紹介のコーナー など
- (2) イベント情報
  - ・ 当会主催のイベント案内
  - ・ 河川塾案内
  - ・ 他団体のイベント案内
- (3) 活動報告
  - ・ 当会の活動報告
  - ・ 河川塾通信
  - ・ 新聞記事掲載
- (4) リンク集
  - ・ 水環境等の市民団体等のリンク集

### 3. 成果

平成 16 年 4 月から 17 年 3 月までの間、28 回の更新(通算で 79 回)を行い、常に最新情報を発信した。過去の報告も掲載しているため、会員の資料室としての利用もされている。

### 4. 今後の課題

- ・ 川に関わる活動をしている団体や個人の紹介するコーナーやコラムなどを企画し内容を充実させる。
- ・ 他のホームページにリンクしてもらい広く閲覧してもらうように工夫する。当会のリンク集も充実させる。



NPO法人近畿水の塾ホームページアドレス

<http://www.geocities.jp/mizunojuku/index.html>

(報告者：安田 博之)

## <BYQ ネットワークへの参画>

### 1. はじめに

より多くの市民に琵琶湖・淀川流域で水環境改善活動している NPO、水関連施設等を知ってもらい、それらの活動に積極的に参加してもらうことを目的としている BY スタンプラリー（BY スタンプ運営会議）等に近畿水の塾も参画しています。これらを通じて一般の方に本会の活動をより知っていただくと共に他団体との交流を図ることを目的としています。

### 2. 実施内容

#### ・ BY スタンプラリー

近畿水の塾の活動をより多くの市民に知っていただくために BY スタンプラリーに参加しています。また、大和川・淀川流域連携水環境交流会 2004 などのイベントの登録をおこないました。



#### ・ BY スタンプ運営会議

2 ヶ月に 1 回行われている BY スタンプ運営会議に当会から澤井先生が参加しています。BY スタンプラリーを円滑に運営していくために積極的な意見交換が行われています。

#### ・ 琵琶湖・淀川流域意見交換会

H17 年 1 月 22 日（土）、2 月 12 日（土）に行われた琵琶湖・淀川流域意見交換会に当会から富田さんが参加しました。琵琶湖・淀川流域の為に必要なことを考えるワークショップとして意見交換を行うと共に他団体との交流を深める事ができました。



#### ・ BYQ ネットワーク交流会 2005

H17 年 3 月 12 日（土）に摂南大学寝屋川キャンパスで行われた BYQ ネットワーク交流会 2005 に当会からも参加しました。パネル展示や活動紹介などを行いました。近畿水の塾の活動を紹介する良い

機会となり、また他団体の方と交流をする良い機会となりました。

特別法人 琵琶湖・淀川流域水環境保全機構  
参加費無料  
BYQ ネットワーク交流会 2005  
琵琶湖・淀川流域の水環境—交流から連携へ—  
—協力・学び—行動する—  
琵琶湖・淀川流域の水環境を改善するためには、市民やNPOなど多様な主体が連携して活動することが求められています。  
そこで、特別法人 琵琶湖・淀川流域水環境保全機構が主催する「BYQ ネットワーク交流会」を開催し、流域の水環境改善に取り組む人達との関係を交流・連携を促進し、1月22日、2月12日の「BYQ ネットワーク交流会」を開催することとし、その一環として、本交流会を開催することになりました。  
日程：平成 17 年 3 月 12 日 (土) 受付開始 12:00 開演 13:00  
場 所：摂南大学寝屋川キャンパス 11号館第1会議室 (11階)  
※寝屋川駅前よりバスで約10分  
基調講演  
活動報告・発表会  
交流会  
ミニコンサート  
懇親会  
参加費：2,000円  
BYQ スタンプラリー登録グループ

### 3. 成果

BYQ ネットワークは近畿水の塾の活動を知ってもらう良い場であるとともに他団体との交流を深める良い場であったと考えられます。

### 4. 今後の課題

近畿水の塾の活動をより知っていただくために、今後も BY スタンプラリーにイベントを積極的に登録していきたいと考えています。また、他団体との交流を深めるためにも BYQ ネットワークのイベントに参加していきたいと考えています。

## 澤井河川塾のこれまでの活動一覧

場所：河川情報センター（6F会議室）（第49回まで）  
環境情報センター（環境プラザ）（第50回から）

回	日時	講師 & テーマ	河川塾 通信
第1回	平成12年 11月30日 (木)	第1限 定例講義（澤井）「河川学原論」その1 『河川とは、「望ましい」川の姿』 第2限 川の情報交換（白木）『澤井先生のマイリバー 日野川』 大阪府での『水辺の学校』、『流域懇談会』開催状況（野添） 『よこはま かわを考える会ニュース』の紹介（福廣）	Vol. 2
第2回	12月21日 (木)	第1限 新シリーズ 報告「近畿の川～探訪～」番外編 『木曽川 自然共生研究センターと河川環境楽園』 第2限 定例講義（澤井）「河川学原論」その2 『流域と氾濫域、川の定量的な捉え方』 第3限 川のなんでも情報交換会 話題提供 「川に学ぶ」シンポジウムin近畿（足立） 『川のなんでも市』のふりかえり 河川審議会計画部会中間答申（勝山） 「流域での対応を含む効果的な治水のあり方」 平成12年度大阪府河川協会講演会の開催について（野添）	Vol. 3
第3回	平成13年 1月18日(木)	第1限 シリーズ 報告「近畿の川～探訪～」『春木川・津田川と近木川』 第2限 定例講義（澤井）「河川学原論」その3 『普段の川 現実の川における問題点』 第3限 特別講義 水資源開発公団（福田）『河川災害について』 第4限 川のなんでも情報交換会 『流域での対応を含む効果的な治水の在り方について』（西下） 『石川で遊ぶ パードウォッチングin石川』（勝山）	Vol. 4
第4回	2月15日(木)	第1限 シリーズ 報告「近畿の川～探訪～」 『澤井先生のマイリバー＝日野川の池作りに参加してきました』 第2限 徹底討論 『マイリバーとの関わり ... 日野川の池作りを例として』 第3限 川のなんでも情報交換会 『第4回淀川討論会』のお知らせ（2/24）（澤井） 『進めよう、いのちあふれる都市づくり～神戸地域生物多様性保全シンポジウム～』のお知らせ（2/24）（安田） 『春木川・轟川市民のつどい』のお知らせ（3/4）（白木江都子） 『川の世界 加古川』加古川を題材にした総合学習の副読本のご提供（田中）	Vol. 5
第5回	3月15日(木)	第1限 自習（澤井先生定例講義休講のため） 「川のH条件」森下郁子 他ノ著『陸水生態学からの提言』～魚の「すめる」川から魚の「すむ」川へ 第2限 シリーズ 報告「近畿の川～探訪～」『南河内 石川』	Vol. 6
第6回	4月19日(木)	第1限 情報提供（木村）報告「近畿 川ものがたり」 第2限 定例講義 「河川工学」基礎編（澤井） 河道の中の流れについて 第3限 「川と人とのつきあい方」 第4限 「河川に関するQ&A」 第5限 話題提供（岡田）「Landscape Kansai」（春号）	Vol. 7
第7回	5月15日(火)	第1限 定例講義 「河川工学」基礎編2 ～土砂が動く～ 第2限 Q & Aコーナー及び情報交換	Vol. 8
第8回	6月19日(火)	第1限 定例講義 『河川工学』基礎編 - 3 第2限 「川に関するQ&A」「川のお悩み相談室」「情報提供」	Vol. 9
第9回	7月17日(火)	第1限 「赤目エコリポート」合宿の報告 第2限 澤井塾 小学校3年生に対する授業メモを元に意見交換会 第3限 春木川の河川改修 第4限 その他	Vol. 10

第10回	9月8日(土) 名張 土谷邸	8月21日(火)台風11号のため、中止となり9月8日が第10回となる (1)澤井先生の『Eポート』 【川に学ぶ!】 「シンポ1周年!」 「シンポふりかえり!」	Vol. 12
第11回	10月16日(火)	第1限 情報提供 『川に学ぶ体験活動発表交流会について』川に学ぶ」シンポふりかえり等 (参加者の中での自由なフリートークの時間)	Vol. 13
第12回	11月20日(火)	第1限 シリーズ 報告「近畿の川～探訪～」 『河内-長瀬川』 第2限 定例講義 『河川工学』基礎編-4 (澤井)	Vol. 14
第13回	12月18日(火)	座談会+忘年会	Vol. 15
第14回	平成14年 1月22日(火)	第1限 シリーズ 「近畿の川～探訪」 『泉州 槇尾川』 第2限 定例講義 『河川工学』(澤井)	Vol. 16
第15回	2月19日(火)	フリータイム 『川』のおしゃべりタイム(情報交換) 第1限 定例講義 『河川工学』(澤井) 第2限 「私の好きな川、嫌いな川アンケート」	Vol. 17
第16回	3月13日(水)	いってらっしゃい、土谷さん! 大々壮行会 主 催:(仮称)『近畿水環境ネットワーク』準備会	Vol. 18
第17回	4月17日(水)	4月から第3水曜日に変更いたしました 新シリーズ 『マイリバー紹介』 堺市 土居川(その1)(西河)	Vol. 19
第18回	5月22日(水)	新シリーズ プレゼンテーション 『マイリバー紹介』 堺市 土居川(その2)(西河) 第1限 フリーディスカッション 『土居川について』 第2限 講 評 『川の学校』(澤井)	Vol. 20
第19回	6月19日(水)	新シリーズ プレゼン 『マイリバー紹介』 堺市 土居川(その3)(西河) 第1限 フリーディスカッション 『土居川について』 第2限 講 評 『川の学校 土居川編』(澤井)	Vol. 21
第20回	7月17日(水)	シリーズ プレゼン 『マイリバー紹介』 三重 名張川(その1) (川上・福廣) 第1限 フリーディスカッション 『名張川について』 第2限 講 評 『川の学校 名張川編』(澤井)	Vol. 22
第21回	9月18日(水)	シリーズ プレゼンテーション 『マイリバー紹介』 三重 名張川(その2) (川上・福廣) 第1限 フリーディスカッション 『名張川について』 第2限 報 告 会 「川の日ワークショップ」 グランプリ 寝屋川再生ワークショップ(澤井) 準グランプリ 牛滝川(野添)	Vol. 24
第22回	10月16日 (水)	シリーズ プレゼンテーション 「NPO法人 近畿水の塾」 理事長 福廣さん 副理事長 澤井さん 第1限 報 告 会 1 「大阪 川めぐり」(古川) 第2限 報 告 会 2 『第2回川に学ぶ体験活動発表 交流会in北九州』(川上)	Vol. 25
第23回	11月20日(水)	第1限 シリーズ マイリバー紹介 「近木川 汽水ワンド」(白木) 第2限 報 告 会 『第2回川に学ぶ体験活動発表交流会in北九州』(福 廣)	Vol. 26
第24回	12月18日(水)	特別シリーズ 流域間交流会 「大阪府 石川と近木川」(寺川・白木) 川における市民と行政の協働とは?・・・ミニワークショップ開催	Vol. 27
第25回	平成15年 1月13日(月・ 祝)	河川塾フィールドワーク 「大阪府 石川」-(勝山) 石川流域講座生との意見交換会	Vol. 28
第26回	2月16日(日)	河川塾フィールドワーク 「大阪府 近木川」-(白木)	Vol. 29
第27回	3月12日(水)	マイリバーふりかえり 九州川の日ワークショップ松浦川の報告(福廣)	Vol. 30
第28回	4月16日(水)	河川関連法についての自主学習 「自然再生法ってどんななん?」 レポート 「淀川 平成ワンドと木工沈床工」	Vol. 31

第29回	5月21日(水)	河川関連法についての学習会 第1限 - 講義 - 「自然再生推進法の解説」 講師：大阪府環境農林水産部 池口主査 第2限 全体討論会 「自然再生推進法とは？」	Vol. 32
第30回	6月18日(水)	「水辺空間と人の関わり」 京都造形芸術大学 学生チームの木津川精華町での調査発表会(下村)	Vol. 33
第31回	7月16日(水)	「近木川 自然再生事業」 大阪府貝塚市近木川での自然再生事業に向けての課題・取り組み方(白木)	Vol. 34
第32回	8月20日(水)	「近木川 自然再生事業」 大阪府貝塚市近木川での自然再生事業に向けての課題・取り組み方(澤井)	Vol. 35
第33回	9月17日(水)	第1限.「近木川」 第2限.「私の水辺」大発表会2003～水辺や水辺活動の評価手法、評価基準を 考える～	Vol. 36
第34回	10月15日(水)	第1限 - 第4回全国源流シンポジウムin高津川大会 報告(福広) 第2限 マイリバー紹介 尼崎市「庄下川」 (安田)	Vol. 37
第35回	11月22日(土)	リバーウォッチング庄下川 よみがえれ庄下川～川・人・街の風景～ (午後1時～5時)	Vol. 38
第36回	12月17日(水)	北桂川の流域見聞について (下村)	Vol. 39
第37回	平成16年 1月21日(水)	シリーズ 淀川水系流域委員会「意見書」を読む ～淀川河川整備計画基礎原案から(1)～(澤井)	Vol. 40
第38回	2月18日(水)	シリーズ 淀川水系流域委員会「意見書」を読む ～淀川河川整備計画基礎原案から(2)～(澤井)	Vol. 41
第39回	3月17日(水)	河川塾フィールドワーク 摂南大学実験視察 ～近木川汽水ワンド実験～	Vol. 42
第40回	4月21日(水)	シリーズ 淀川水系河川整備計画策定について ～流域委員会の活動について(1)～(川上)	Vol. 43
第41回	5月19日(水)	マイリバー 寝屋川再生ワークショップからの報告 (上田、澤井、久保田)	Vol. 44
第42回	6月16日(水)	シリーズ 淀川水系河川整備計画策定について ～流域委員会の活動について(2)～(川上)	Vol. 45
第43回	7月21日(水)	シリーズ 大和川を語る ～都市河川としての大和川の過去・現在・未来～(角野)	Vol. 46
第44回	8月18日(水)	レポート 大和川・淀川流域連携水環境交流会2004 新潟・福井水害	Vol. 47
第45回	9月15日(水)	歴史と文化の中の川づくりを考える ～近畿水の塾への期待、役割～(角野)	Vol. 48
第46回	11月17日(水)	水資源と環境 ～淀川水系の水資源の量と質～(大阪府立大学荻野教授) 10/20の河川塾は台風23号の接近で中止になりました。(被害を受けられた皆さまには心よりお見舞い申し上げます。)	Vol. 49
第47回	12月15日(水)	シリーズ NPO活動と市民協働の実態 ～三島グランドワークにおける政策自主研究報告(速見)	Vol. 50
第48回	平成17年 1月19日(水)	シリーズ NPO活動と市民協働の実態 ～NPO法人里山倶楽部の紹介～(寺川)	Vol. 51
第49回	2月17日(木)	シリーズ 堺7-3区共生の森の活動紹介(速水)	Vol. 52
第50回	3月16日(水)	シリーズ 浜寺水路でのコンブ育成実験(前田)	Vol. 53

## 澤井河川塾 番外編・拡大版

平成13年2月12日(月)午前10時から午後5時 澤井先生のマイリバー『日野川』 日野川の河川敷に手づくりの親水空間 『ビオトープの池』を作ろう!
平成13年6月30日(土)~7月1日(日) 三重県名張市『赤目の森 エコリゾート』他 赤目の森ハイキング NPO「赤目の里山を育てる会」の活動講演 赤目の里でホタル観察会 澤井河川塾 大討論会 探索 名張川 まちかど散歩 『名張』 e t c . . .
平成13年5月27日(日)午前10時~ 澤井先生のマイリバー『日野川』 日野川の河道内に人工的な交互砂州を作ってみる! L = 約200mの実験区をつくり、梅雨時の変化状況を調べる。
平成14年4月14日(日)午後3時~5時5月19日(日)午後2時~4時 現地見学会 『マイリバーに出かけよう!』 堺市二級河川 内川水系土居川
平成14年10月12(土) フィールドワーク第1弾「大阪 川めぐり」(古川)
平成14年12月1日「私の水辺大発表会」第2次発表会(ドーンセンター) 近畿水の塾参加発表
平成15年4月3日(木)13:00~17:00 河川塾フィールドワーク 大阪府 淀川 ~淀川長柄橋上流右岸木工沈床見学会~ (澤井)
平成15年4月23日(水)18:30~21:30 「柳川堀割物語」ミニ上映会 交流会 21:30~
平成15年7月21日(祝)11:00~16:00 フィールドワーク 「木津川 水辺空間と人の関わり」 京都造形芸術大学 木津川チーム の取組み
自然再生連続シンポジウム 第1回 平成16年2月22日(日)12:30~15:30 於:NPOプラザ 「法に託された思いと可能性」 話題提供:佐藤寿延さん(環境省)、恵小百合さん(江戸川大学) 第2回 平成16年3月13日(日)13:30~16:30 於:UFJ総研 「自然環境権と自然再生推進法」 話題提供:池上徹さん(弁護士)、佐藤寿延さん(環境省) 第3回 平成16年4月24日(土)13:30~16:30 於:UFJ総研 「自然再生推進法をどう使おう?」 参加者全員によるディスカッション
平成16年10月30日(土)13:30~ 於:大阪府環境プラザ 「旭川源流の碑」の活動 竹原和夫さん(旭川流域ネットワーク)
平成17年2月26日(土)13:30~ 於:大阪府環境プラザ ワークショップ&交流会 ~近畿水の塾振り返り~ (話題提供)舞岡・世田谷まちづくり委員会の活動から指定管理者制度について(佐藤)